

令和7年度事後事務事業評価結果概要

日にち	事業番号・事業名	評価結果			外部評価委員からの意見	
		予算	サービス	方向性	附帯意見 (全体意見)	その他意見 (個別意見)
R8.1.27	1 高齢者バス利用助成事業	継続（現状維持）	継続（拡大）	拡大	<p>○利用率は5割程度で推移しているが、必要な高齢者が適切に利用できる環境整備が重要である。</p> <p>○高齢者の外出支援と社会参加促進において重要な役割を果たしている事業である。</p> <p>○令和8年度からのお出かけバス導入により、バス・タクシー・デマンドバスを一体的に利用できる仕組みづくりが期待される。</p> <p>○利用実態の把握と効果測定のため、データ分析を強化することが必要である。</p> <p>▶以上から、予算を現状維持とし、サービス・方向性を拡大のうえ事業を継続することが望ましい。</p>	<p>○路線バスとデマンドバスを組み合わせた効果的な利用方法について、町民への周知を強化することが望ましい。</p> <p>○介護予防事業や入浴券との組み合わせなど、他事業との連携強化が期待される。</p> <p>○利用率の数値目標ではなく、真に支援が必要な高齢者への到達度を評価する指標の検討が望ましい。</p>
	2 起業推進事業	継続（現状維持）	継続（現状維持）	現状維持	<p>○活動指標と成果指標の内容が重複しており、指標の再検討が必要である。</p> <p>○雇用創出や売上拡大の要件について、小規模事業者の実態を踏まえた現実的な目標設定への見直しが必要である。</p> <p>▶以上から、予算・サービス・方向性すべてを現状維持のうえ事業を継続することが望ましい。</p>	<p>○起業後の相談体制を強化し、事業者が気軽に相談できる環境づくりが望ましい。</p> <p>○KPIを整理し、売上・雇用・地域内循環の見える化を進めることが必要である。</p> <p>○起業後の継続的な支援（資金・販路・組織・人材）の制度化が望ましい。</p>
	3 地域公共交通対策事業	継続（拡大）	継続（拡大）	拡大	<p>○デマンド交通「めぐるくん」の運行実績が目標を上回り、町民ニーズに応える重要な事業である。</p> <p>○運行時間の延長など利便性向上の取り組みが利用者増加に寄与しており、今後も継続が必要である。</p> <p>○予約調整の逼迫や運行経費増に対応し、料金適正化や外部財源活用の検討が必要である。</p> <p>▶以上から、予算・サービス・方向性すべてを拡大のうえ事業を継続することが望ましい。</p>	<p>○若年層や中高生の利用促進に向けた周知活動の強化が望ましい。</p> <p>○AI配車データの分析により、需要の高い時間帯・エリアに基づく運行の最適化が望ましい。</p> <p>○路線バス・タクシーとの使い分けについて、町民への周知を強化することが期待される。</p>
	4 起業家人材育成事業	継続（現状維持）	継続（現状維持）	現状維持	<p>○起業家支援や新規事業創出において着実な成果を上げている重要な事業である。</p> <p>○地雇用創出や売上拡大の要件について、小規模事業者の実態を踏まえた現実的な目標設定への見直しが必要である。</p> <p>○商工会会員数の増加や地域行事の担い手創出など、地域コミュニティ活性化に寄与している。</p> <p>▶以上から、予算・サービス・方向性すべてを現状維持のうえ事業を継続することが望ましい。</p>	<p>○起業家同士のコミュニティ形成を促進し、相互支援の仕組みづくりが望ましい。</p> <p>○起業後の継続的な支援体制（資金・販路・組織・人材）の構築が望ましい。</p> <p>○成果については、定量化（売上・雇用）と定性化（ネットワーク、連携件数）を併用して可視化することが望ましい。</p> <p>○二地域居住・子育て期の女性・関係人口に届く柔軟な働き方支援や交流機会の強化が期待される。</p>

令和7年度事後事務事業評価結果概要

日にち	事業番号・事業名	評価結果			外部評価委員からの意見	
		予算	サービス	方向性		
R8.1.28	5 食生活改善推進員活動事業	継続（現状維持）	継続（現状維持）	拡大	<p>附帯意見（全体意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食生活改善推進員の高齢化と新規推進員確保が喫緊の課題となっている事業である。 ○健康寿命延伸や食育推進において重要な役割を担っており、組織の若返りと活動の活性化が必要である。 ○男性や退職世代など新たなターゲット層への働きかけにより、裾野を広げることが求められる。 ▶以上から、予算・サービスを現状維持とし、方向性を拡大のうえ事業を継続することが望ましい。 	
					<p>その他意見（個別意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○養成講座の開催や準会員制度の導入など、推進員確保の新たな仕組みづくりが必要である。 ○多様化する住民ニーズに応じた活動内容の工夫が望ましい。 ○活動内容のSNS発信など、若い世代に訴求する広報手法の導入が期待される。 ○学校・子育て支援・地域食堂等との連携により、次世代参加の導線を拡充していくことが期待される。 	
	6 地域おこし協力隊活動事業（農業支援員）	継続（拡大）	継続（現状維持）	拡大	<p>附帯意見（全体意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規就農者の受入から定着まで一貫した支援体制を構築している先進的な事業である。 ○農地確保が課題となっており、関係機関との連携強化による計画的な農地マッチングが必要である。 ○農業法人への就職支援など新たな取り組みにより、多様な就農形態に対応することが期待される。 ▶以上から、予算・方向性を拡大とし、サービスを現状維持のうえ事業を継続することが望ましい。 <p>その他意見（個別意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修生の状況を含めた成果指標の見える化が必要である。 ○農業委員会や土地改良区との連携強化により、農地情報の共有を進めることが求められる。 ○体験研修の必須化によりミスマッチを抑制しつつ、都市部からの人材獲得を継続することが期待される。 	
	7 職員研修事業	継続（現状維持）	継続（拡大）	拡大	<p>附帯意見（全体意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員の資質向上と組織力強化において重要な事業であるが、研修の効果測定と改善が課題となっている。 ○人材育成・確保基本方針の策定を契機に、階層別×課題別の体系的な研修体系の構築と人事評価との連動が必要である。 ○人事評価制度との連動を強化し、研修に積極的に取り組む職員を評価する仕組みの拡充が期待される。 ▶以上から、予算を現状維持とし、サービス・方向性を拡大のうえ事業を継続することが望ましい。 <p>その他意見（個別意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修参加者数ではなく、受講直後の満足度、3～6か月後の行動変容、業務プロセスの可視化など、研修効果を多面的に測定する指標体系の構築が望ましい。 ○OJTの仕組み化と業務の見える化により、組織全体の育成文化を醸成することが求められる。 ○義務的な研修参加ではなく、職員が自らの課題に応じて主体的に学ぶ文化の醸成が期待される。 ○組織文化の変革には時間を要することを前提に、中長期的な視点で人材育成基本方針を推進することが求められる。 	